



ロードスターキャピタル株式会社

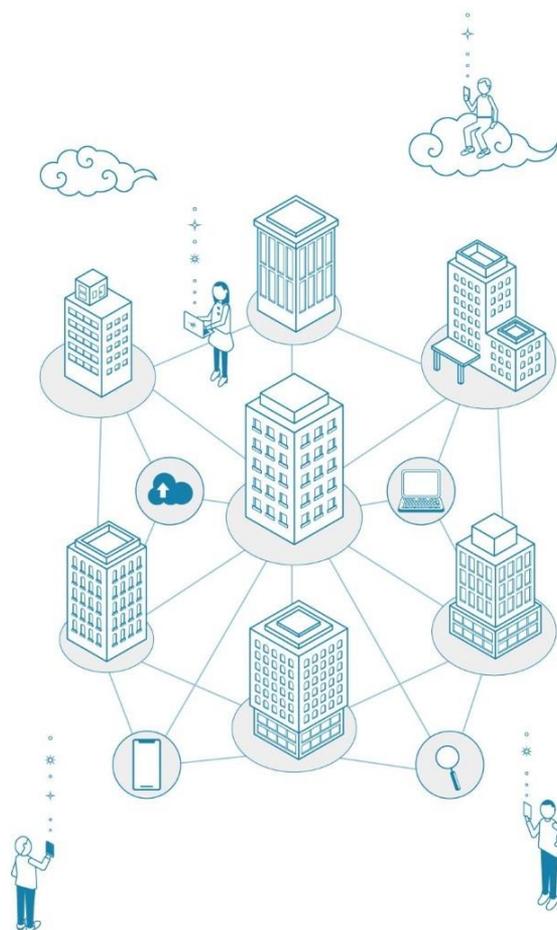
2024 年 12 月期第 2 四半期決算説明会

2024 年 8 月 9 日

登壇

ミッション
Mission

不動産と
テクノロジーの融合が
未来のマーケットを切り開く



岩野：代表取締役社長の岩野達志でございます。私から、2024年12月期第2四半期決算概要をご説明させていただきます。当社は、「不動産とテクノロジーの融合が未来のマーケットを切り開く」というミッションを掲げ、ビジネスを展開している会社でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2024年12月期 2Q業績

- コーポレートファンディング、アセットマネジメント、クラウドファンディングの各事業が好調。
- 下半期において各事業で契約済の案件も複数あり、年間計画の達成にむけて順調に進捗中である。

		前年同期比	計画進捗率
売上高	152億円	+4.6%	40.4%
営業利益	48億円	+13.1%	42.1%
税前利益	43億円	+24.0%	43.0%
当期純利益	29億円	+24.0%	42.9%
販売用不動産	629億円	前期末比 +14.2%	
ROE	29.5%		

© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

4

それでは、まず第2四半期の決算ハイライト等です。決算ハイライトはこちらのとおりです。

売上高 152 億円、営業利益 48 億円、税前利益 43 億円、当期純利益 29 億円となりました。コーポレートファンディング、アセットマネジメント、クラウドファンディングの各事業が好調であり、通期業績予想に対しては4割を超える進捗率となっております。下半期においては、契約済みの案件も複数あり、年間計画の達成に向けて順調に進捗しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

① 当社4件目となるホテル取得

世界的にも知名度が高く、都市観光拠点となりつつある新宿歌舞伎町において、築浅で競争力のあるホテルを取得。インバウンド需要が旺盛で、かつインフレ環境下において積極的なホテル投資を継続。

①ホテルリブマックス新宿歌舞伎町



② AM事業のAUM (受託資産残高) が1,000億円を回復

案件の新規受託と売却をこなし、AUMは1,000億円超となった。7月以降に新規受託予定案件もあり、AUM積み上げに邁進中。

③ OwnersBook配当総額20億円突破

不動産特化型クラウドファンディング事業において、個人を中心とした投資家への配当総額が20億円を突破した。



次に、第2四半期のトピックです。

一つ目としましては、当社4件目となるホテルを取得いたしました。世界的にも知名度が高い、新宿歌舞伎町のホテルとして、インバウンド需要が旺盛で、かつ、インフレ環境下においての積極的な投資となります。

二つ目としましては、アセットマネジメント事業のAUM受託資産残高が1,000億円を超えました。投資家の意向により、物件の売却もございましたが、新規案件を複数受託いたしまして、1,000億円を回復しております。また、7月以降についても、新規受託予定の案件がございます。

三つ目は、OwnersBookの配当総額が20億円を突破いたしました。個人投資家への配当が中心となりますが、預かった資金をしっかりと運用してお返しできていることを嬉しく思います。このビジネスは投資家との信頼関係がとても大切ですので、引き続きリスク管理を最優先に案件組成していきたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

全般的な見通し

- 2024年1-3月期の世界都市別投資額ランキングで東京は1位となり、投資額も前期比178%増とコロナ禍直前の2020年1-3月期に迫るまで回復した。
(参考: JLL インベストメントマーケットサマリー 2024年第1四半期)
- インバウンド、円安、インフレ期待からホテルに対する需要がかなり強い。
- オフィスの空室率は低下傾向にあり、オフィス回帰の動きが鮮明となっている。

金利動向

- 日銀が追加利上げを決定したが、事業計画には概ね織り込み済であり、業績への影響は限定的と考えている。
- 過年度に金利スワップ契約を購入済であり、金利上昇リスクをヘッジしている。
- 中長期的にはインフレに伴う賃料や物件価格の上昇が予想され、当社事業にプラスの影響をもたらすと考えている。

今後の対応

- オフィスとホテルを中心に積極的な仕入れを継続的に行う。
- 今後も金利動向/インフレ動向など、マクロ環境が不動産マーケットに及ぼす影響について注視する。

不動産マーケットの見通しについてですが、金融マーケットがやや不安定なもの、引き続き堅調に推移するものと考えております。ホテルマーケットが活況であるほか、オフィスの空室率が低下傾向にあり、オフィスビルの売買も活発化してきております。

金利動向については、先日、日銀が政策金利を0.25%としましたが、当社の業績への影響は限定的と考えております。また、過年度に、金利スワップ契約を購入することにより、金利上昇リスクをヘッジしております。中長期的には、インフレに伴う賃料や物件価格の上昇が予想され、当社事業にプラスの影響をもたらすものと考えております。今後も、マーケットの動向には細心の注意を払いつつ、積極的な仕入れを継続していく予定です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結売上高

- 連結売上高は前年同期比+5%の152億円となった。
- 不動産市況は引き続き活況であり、特に国内事業会社や不動産会社の需要が高い。
- 欧米不動産ファンドからの問い合わせも増えており、市況は安定的と予想される。

連結売上高 (百万円)



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

8

ここからは、2024年第2四半期の決算概要を説明いたします。まず、連結売上高となります。

こちらは前年同期比プラス5%の152億円となりました。不動産市況は引き続き活況であり、特に国内事業会社や不動産会社の需要が高かったです。金融マーケットがやや不安定なもの、欧米の不動産ファンドからの問い合わせも増えており、市況は安定的に推移するものと予想されます。

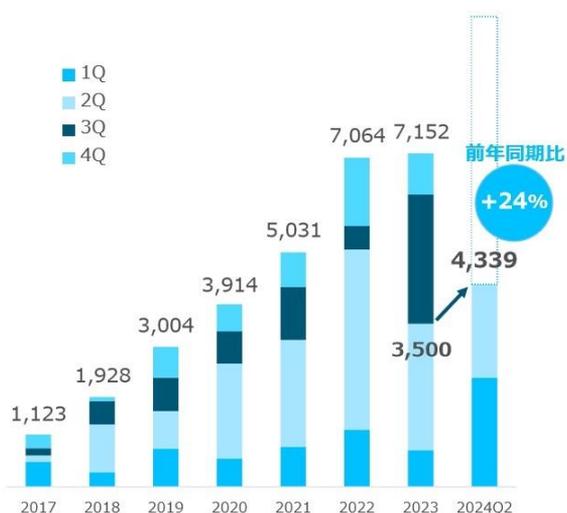
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

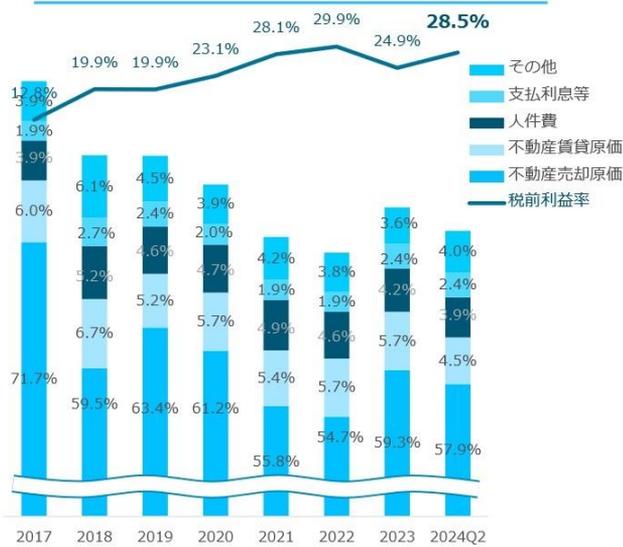
連結税前利益とコストコントロール

- 連結税前利益は前年同期比+24%の43億円となった。
- 貸貸利益率の改善、AM事業及びクラウドファンディング事業の伸長により、税前利益率が改善した。

連結税前利益 (百万円)



コスト構造



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

9

次に、連結税前利益とコストコントロールになります。

連結税前利益については、前年同期比プラス 24%の 43 億円となりました。貸貸利益率が改善したほか、アセットマネジメント事業とクラウドファンディング事業の伸長により、税前利益率が改善しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結損益計算書

- ・ 過年度に購入した金利スワップ契約の評価益203百万円を営業外利益に計上。
- ・ 株式会社ひらまつが運営するホテル6件の売買に関連して取得したひらまつ株の株価下落等により、時価評価損125百万円を特別損失に計上。

(単位:百万円)	2024年12月期 2Q実績				2024年12月期 (計画)		
	実績	対売上高 比率	前年同期比	対計画 進捗率	金額	対売上高 比率	前年比
売上高	15,212	100.0%	104.6%	40.4%	37,658	100.0%	131.1%
売上総利益	5,713	37.6%	109.0%	42.1%	13,569	36.0%	134.7%
販管費	842	5.5%	90.2%	42.1%	2,001	5.3%	109.9%
営業利益	4,870	32.0%	113.1%	42.1%	11,567	30.7%	140.2%
税前利益	4,339	28.5%	124.0%	43.0%	10,083	26.8%	141.0%
当期純利益	2,955	19.4%	124.0%	42.9%	6,895	18.3%	141.2%

連結損益計算書については、ご覧のとおりです。

今年は金利の上昇があったため、過年度に購入した金利スワップ契約で評価益が発生した一方、ひらまつが運営するホテル6件の売買に関連して取得した、ひらまつ株の下落等により評価損が発生しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結貸借対照表

- 販売用不動産は4物件を仕入れた一方、4物件売却し、残高は629億円となった。下半期では大幅な積み増しを予定している。
- クラウドファンディング事業に係る営業貸付金は100億円弱で推移している。

(単位:百万円)	2024年12月期2Q		
	金額	構成比	前期末比
流動資産	84,128	98.8%	112.5%
現金及び預金	11,481	13.5%	96.3%
営業貸付金	9,354	11.0%	134.9%
販売用不動産	62,944	73.9%	114.2%
負債	63,631	74.7%	113.3%
有利子負債	48,049	56.4%	114.8%
匿名組合出資預り金	10,095	11.9%	122.9%
純資産	21,554	25.3%	111.7%
総資産	85,185	100.0%	112.9%

- 主にクラウドファンディング事業における外部貸出し。

- 物件の含み益は相当額積み上がっているがBS上は表れない。
- 開発案件はなく、資源高の影響は受けにくい。
- 会計監査人の指導により、保有目的にかかわらず販売用不動産として計上。

- クラウドファンディング事業において投資家から募集した資金。

- 匿名組合出資預り金等を除いた調整後自己資本比率は28.8%。
- 販売用不動産の含み益を考慮すればさらに高くなる。

連結貸借対照表については、ご覧のとおりです。

販売用不動産の残高が629億円と増えており、さらに7月にはひらまつのホテルが追加されるため、大幅な積み増しが期待されます。有利子負債についても480億円と増えておりますが、金融機関と良好な関係を築いております。クラウドファンディング事業に係る営業貸付金は100億円弱で推移しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

連結キャッシュ・フロー計算書



- 販売用不動産の残高が伸びたため、営業CFはマイナスであるものの、キャッシュマネジメントは適切に行っており、手元の現金等も大幅に増加傾向にある。
- 金融機関との良好な関係構築により、財務CFも安定推移している。

(単位:百万円)	2024年度Q2	2023年度Q2
営業CF	△5,689	△10,426
税金等調整前当期純利益	4,339	3,500
営業貸付金の増減額	△2,419	1,877
販売用不動産の増減額	△8,165	△16,830
匿名組合出資預り金増減額	1,878	△661
預り金の増減額	△567	1,447
投資CF	△3	△1
財務CF	5,248	10,288
借入金純増減額	6,188	11,200
現金及び現金同等物増減額	△445	△139
現金及び現金同等物期首残高	11,927	9,403
現金及び現金同等物期末残高	11,481	9,263

◆当社は経営基盤となる販売用不動産を積み増す戦略を採っており、積み増すとキャッシュアウトが大きくなる。

◆当該キャッシュアウトは利益や資金調達によって補われており、不動産業種では一般的なCFである。

連結キャッシュ・フロー計算書は、ご覧のとおりです。

販売用不動産の残高が伸びたため、営業キャッシュ・フローはマイナスであるものの、手元の現金等は大幅に増加傾向にあります。金融機関との関係も良好であり、財務キャッシュフローも安定推移しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



基本方針

- 業績拡大により企業価値・株主利益の向上に努める。

配当方針

- 配当性向17%を目安に安定的かつ継続的な利益還元を実施。



株主優待

- 当社株式を1,000株以上かつ半年以上継続保有された株主を対象に『OwnersBook』の「株主優待用投資枠」を提供。

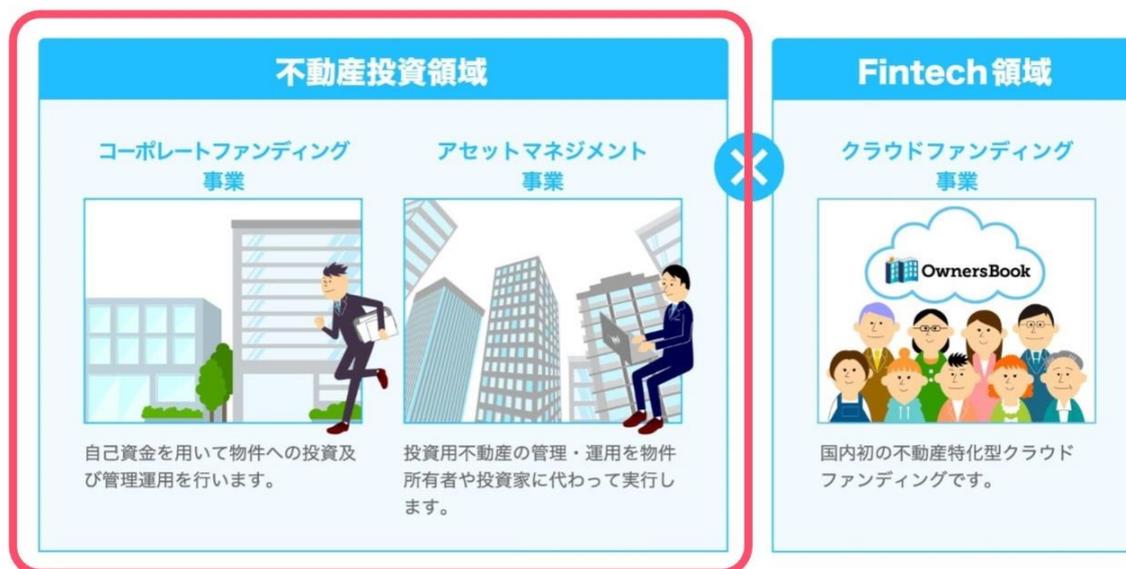
次に、株主還元についてです。

弊社は、基本方針として、業務拡大により、企業価値、株主利益の向上に努めております。また、配当方針としましては、配当性向は17%を目安に、安定的かつ継続的な利益還元を実施しております。今年度は1株当たり70円の配当予定でして、昨年対比でも大幅な増配となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Mission 不動産とテクノロジーの融合が未来のマーケットを切り開く



次に、事業別の実績について説明させていただきます。まずは不動産投資領域になります。

サポート

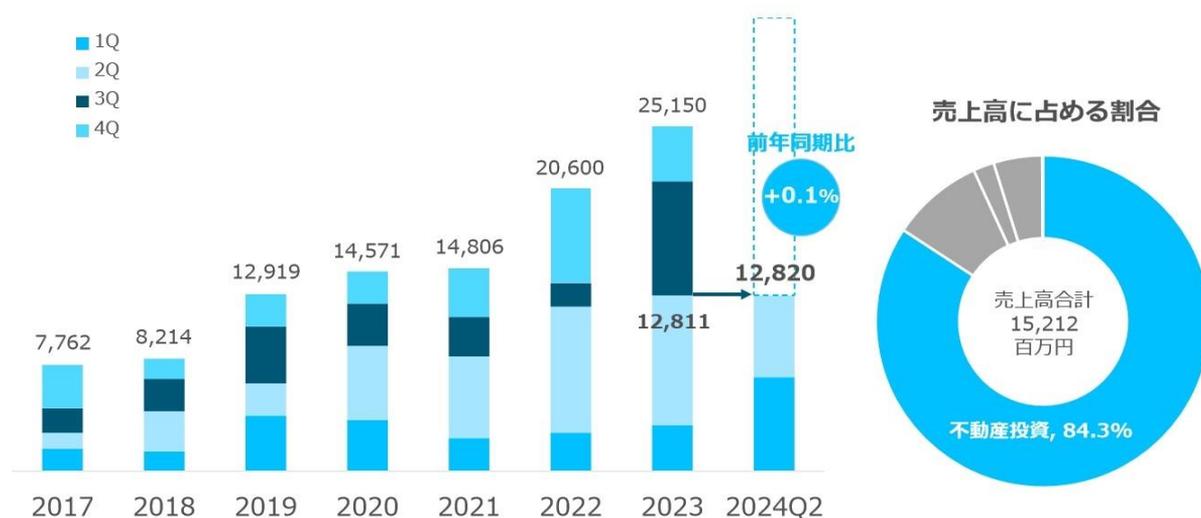
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

コーポレートファンディング事業（不動産投資）



- オフィス4物件を売却し、売上高は前年同期と同水準の128億円となった。
- 下半期においてホテル6件を購入したほか、大型オフィスビルも売却契約を締結済みであり、通期の業績達成にむけて順調に進捗している。

コーポレートファンディング（不動産投資）事業売上高（百万円）



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

16

コーポレートファンディング事業の投資事業についてですが、第2四半期でオフィスを計4件売却しております。

売上高は前年同期と同水準の128億円となっております。下半期において、ホテル6件を購入したほか、大型オフィスビルも売却契約が締結済みであり、通期の業績達成に向けては順調に進捗しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

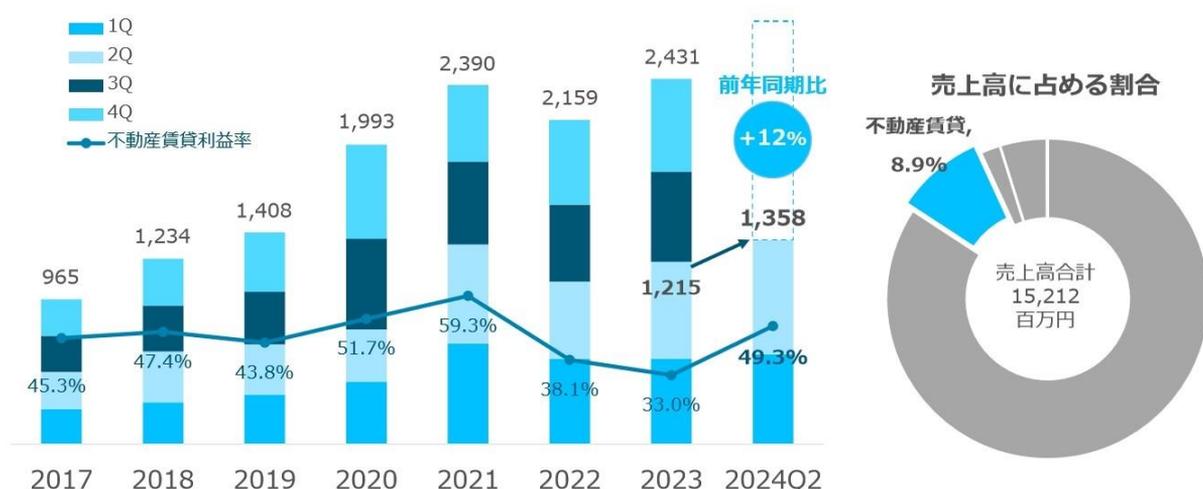


コーポレートファンディング事業（不動産賃貸）



- 当社4件目となるビジネスホテルを取得。ホテル賃貸収益が計画を上回り、賃貸売上高は前年同期比+12%の13.5億円となった。
- オフィスについてはリーシングが堅調に推移し、市況は回復傾向にある。
- 大がかりなリニューアル工事が減ったため、賃貸利益率は改善した。

コーポレートファンディング（不動産賃貸）事業売上高（百万円）



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

17

次に、コーポレートファンディング事業の賃貸事業についてです。

当社4件目となるビジネスホテルを取得したほか、既存ホテルの売上も想定を上回っており、賃貸売上は前年同期比12%増の13.5億円となりました。オフィスについても、リーシングが順調に進んでおり、市況は回復傾向にあります。昨年度はリニューアル工事が多かったため、利益率がやや低くなりましたが、今年はその成果で利益率も向上しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



コーポレートファンディング事業（実績推移）

- 物件売却に伴う利益率は引き続き高水準を維持している。
- 市場の流動性と効率的な物件の運営を意識し、投資対象とする物件の規模を引き上げている。
- 引き続きオフィスとホテルを中心に、積極的に投資していく。

販売用不動産の帳簿価額、物件数推移



トラックレコード	売却価格/仕入価格 (諸経費・減価償却費除く)
2020	147%
2021	149%
2022	161%
2023	156%
2024	150%

物件数	保有	売却累計
都心五区	15	44
その他区	3	23
横浜	1	2

主な用途	オフィス	物流/工場	商業	住宅	ホテル
都心五区	12	-	-	-	3
その他区	1	-	1	1	-
横浜	-	-	-	-	1

*都心五区：千代田区、中央区、港区、渋谷区、新宿区



こちらコーポレートファンディング事業の実績推移についてです。

今年も物件売却に伴う利益率は引き続き高水準を維持しております。左下のグラフの推移のとおり、保有している販売用不動産の物件数に変わりはありませんが、残高はしっかりと増えており、また含み益も増加しております。下半期には、これにひらまつのホテルが加わりますので、一層の積み増しが期待されています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- 複数物件の新規受託と売却がそれぞれあり、売上高は前年同期比+170%の7.1億円となった。
- AUMに大きな変化は無いものの、下半期において複数の案件の受託が予定されている。

アセットマネジメント事業売上高とAUM



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

19

次にアセットマネジメント事業です。

今期は複数物件で、新規受託と売却のそれぞれがあったため、取得報酬と売却報酬が加わり、売上高は大幅に増加しております。AUMは横ばいとなっておりますが、下半期においても複数の案件受託が予定されており、将来に向けてしっかりと成長の基盤をつくっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

Mission 不動産とテクノロジーの融合が未来のマーケットを切り開く

不動産投資領域		Fintech 領域
コーポレートファンディング 事業	アセットマネジメント 事業	クラウドファンディング 事業
		
自己資金を用いて物件への投資及び管理運用を行います。	投資用不動産の管理・運用を物件所有者や投資家に代わって実行します。	国内初の不動産特化型クラウドファンディングです。

次に、Fintech 領域の OwnersBook についてご説明させていただきます。

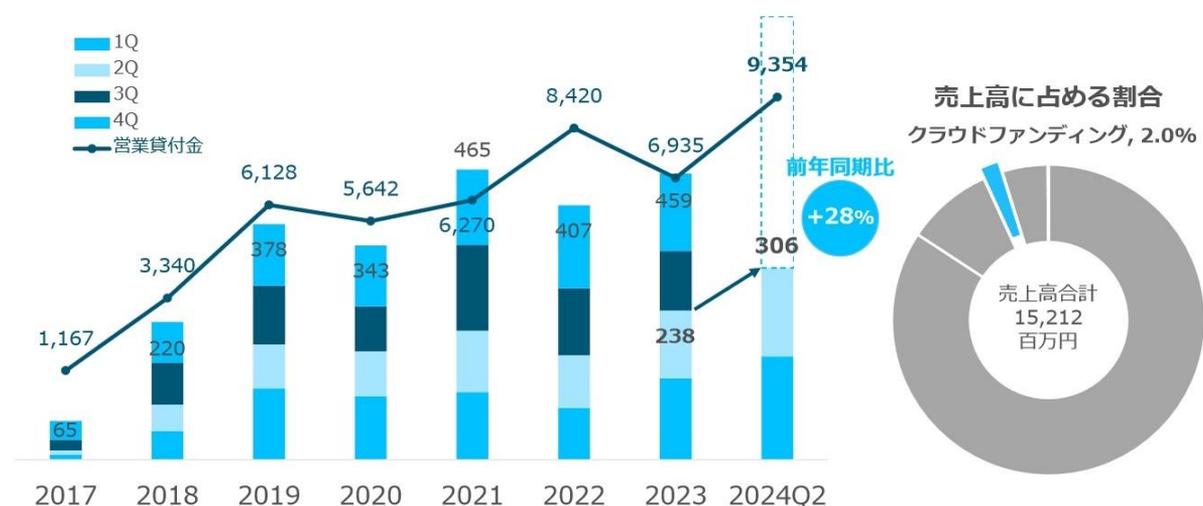
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

クラウドファンディング事業

- 案件組成は順調であり、売上高は前年同期比+28%の3億円となった。
- 営業貸付金は過去最大規模の93億円、前期末比+35%となった。

クラウドファンディング事業売上高と営業貸付金残高 (百万円)



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

21

クラウドファンディング事業は、第2四半期の売上としましては、過去最高の3億円となりました。また、営業貸付金も93億円となっており、こちらも過去最大規模となっております。社内的にも営業強化をしており、引き続き、業務拡大を目指しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

クラウドファンディング事業（KPI）

- 投資家会員数は概ね横這いであるが、数億円の案件も数分で募集完了しており、組成案件に対する需要は非常に高い状態が続いている。
- STO案件については、立地・利回り・物件種別など様々な観点から魅力的な物件が見つかり次第、ローンチに向けて準備を進めたいと考えている。

投資家会員数 **28,078人**

投資金額 **66 億円**



投資家会員数と投資金額



© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

22

クラウドファンディング事業のKPIとして、投資家会員数および投資金額があります。投資家会員数はおおむね横ばいとなっておりますが、投資金額は66億円と、第2四半期では過去最高となっております。引き続き投資家の需要は旺盛です。新しい投資家の方には投資しづらい環境が続いているため、案件数、募集金額を増やすべく、営業活動は積極的に行っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

中期経営計画の進捗



- 中期経営計画の目標達成にむけて、各事業において数字の積上げを行っている。
- AUM／OwnersBook投資額については計画数字をビハインドしているものの、計画数字に近づけるよう全社を挙げて取り組んでいる。

(単位:億円)	2022		2023		2024	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績 2Q時点
売上高	185	236	293	287	300	152
税前利益	63	70	72	71	100	43
ROE	>30%	38%	>30%	29%	>30%	29.5%
配当性向	>15%	17%	≥17%	17%	≥17%	≥17%
自己保有資産残高	-	471	-	551	750	629
AUM	-	800	-	1,000	2,000	1,000
OwnersBook投資額	-	75	-	93	200	66

© Loadstar Capital ALL RIGHTS RESERVED

24

最後に、中期経営計画の進捗についてです。

中期経営計画の進捗状況はこちらのとおりで、目標達成に向けて、各事業において、数字の積み上げを行っております。AUM、OwnersBook投資額については、計画数字をビハインドしているものの、本年は中期経営計画の最終年度ということで、計画数字に近づけるよう、全社を挙げて取り組んでおります。特に当社は、税前利益 100 億円を最重点項目と考えて、達成に向けて数字の積み上げを行っております。

以上、2024 年 12 月期第 2 四半期の決算説明とさせていただきます。私からのご説明は以上でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質疑応答

司会 [M]：それでは、これより質疑応答に移らせていただきます。投稿されたご質問の中から運営側がご回答いたしますが、内容が重複する質問につきましては省略させていただきます。それでは、ご質問のほう、よろしくお願いいたします。

質問者 [Q]：まず一つ目の質問です。金利の見通しと、不動産業界、当社への影響について、改めて教えてください。

岩野 [A]：はい。長期的な目線で言えば、金利というものは、もう少し上がっていくかなと考えられるものの、今回の利上げで、結構金融マーケットのほうが不安定になったため、しばらくはゆっくりとした状況で、徐々に、少しずつということですかね、利上げしていくものと考えております。

当社としましては、適切なインフレを伴うタイミングでの金利の上昇というのは、不動産マーケットに関して言えば、先ほどお伝えしましたとおり、例えば賃料の上昇であったりとか、物件価格の上昇というところで、追い風と考えておりますので、そこは当然のことながら、マーケットを注視しながらもやっています。基本的には、その金利の上昇というものについては、過度な上昇がない限りにおいては、弊社においてはポジティブになるのではないかと考えております。

質問者 [Q]：続いての質問です。ひらまつの高級リゾートホテルの投資は、これまでの投資方針と異なっている気がしますが、その背景を教えてください。

岩野 [A]：はい。ご指摘のとおりですね、われわれは基本的には都内のオフィスビル、中小のオフィスビルを中心に投資してきており、その延長でビジネスホテル等を投資してきておりました。今回は、高級のリゾートホテルということで、この分野に積極的に投資を進めていくというわけではなく、たまたまご縁の中で、今回のホテルの案件が来ました。

われわれとしましてはですね、この直近のインフレであるとか、インバウンドの追い風が非常に大きい中で、知名度もあって、ブランドもしっかりしているひらまつさんのホテル6件の取得ということでしたので、こちらはアップサイドが非常に大きいのではないかとということで意思決定しまして、投資をしております。

契約発表後も、結構、反響が非常に大きくて、いろいろな機関投資家様等からですね、これって、もしかしたらまだ共同出資できないかみたいな問い合わせもございましたので、マーケットにおい

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ても、本件のポートフォリオの潜在的な魅力というところは、非常に大きいのではないかなと考えております。

司会 [M]：ありがとうございます。そのほか、質問いかがでしょうか。

質問者 [Q]：次期中計は、本決算発表後の2月に公表かと思いますが、現段階で想定している内容の見通しについて、教えていただけるものがあれば教えてください。

岩野 [A]：はい。次期中計ということなので、なかなか触れにくいところなのですが、基本的には、現在の事業の延長線上で考えておりますので、それぞれの事業の成長をベースに組み立てていきたいと考えております。一方で、昨今、ちょっとホテルの割合が増えてきておりますので、今後のポートフォリオのアロケーションを踏まえたときに、どの物件を今後売却していくか等という議論は必要になってくると思いますし、またもしくは、新規事業等が、ご縁があってスタートできるようなことがあれば、そちらについても加えていきたいと思っておりますが、基本的には、今の会社の成長の延長上にあると考えております。

司会 [M]：ありがとうございます。その他、ご質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、お時間となりましたので、質疑応答を終了させていただきます。

以上で、2024年12月期第2四半期決算説明会を終了いたします。ご参加いただき誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

